OLSBERG

User Manual　取扱説明書
Installation Manual　設置要領書　（保証書付）

ZG5外気温センサー（オプション品）対応品

ファンレスシリーズ

Astral（アストラル）　14-60_-9B

このたびは、オルスバーグ蓄熱式電気暖房器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みいただいた後は、保証書が付属しておりますので大切に保管してください。

蓄熱式電気暖房器が転倒した場合の対応

地震等で万が一、蓄熱式電気暖房器が転倒した場合は、転倒センサーの作動により電源が遮断されますが、
本体と床等可燃物が密着して火災になる恐れがありますので、以下の通り処置をお願いいたします。

1. 念のため、お手を触れずにブレーカーを切ってください。
2. 落下物など可燃物が近くにある場合は取り除いてください。
3. その後、すみやかに販売店、または工事店に連絡してください。

※水を掛ける場合は本体に直接掛からない様にご注意ください。
二次災害を防止する為の処置により発生した錆や変形等にかかわる
修理代金はお客様のご負担となります。

Olsberg

1. 目　次

取扱説明書

1. 目次 …… 2
2. ご使用前に良くお読みください …… 3
3. 製品の特長 …… 4
4. 操作方法 （操作部の位置関係と名称）
　1. 暖房開始の準備 …… 5
　2. LCDディスプレィ …… 6
　3. 蓄熱設定ダイヤル …… 6
　4. 追焚き運転 …… 6
　5. チャイルドロック …… 7
　6. メニューボタン（通常モード） …… 7
　7. 暖房シーズンの終了 …… 7
5. 時計合わせ・エラーの解除方法
　1. 時計合わせ …… 8
　2. エラーの解除方法 …… 9
6. 蓄熱減設定と解除の方法 …… 10
　蓄熱減設定の手順
　（設定変更シュミレーション） …… 11〜12
7. 放熱量調節の仕方 …… 12
8. ご注意 …… 13
9. 故障かな？と思ったら …… 13

設置要領書

10. 重要事項 …… 14
11. お断り …… 14
12. 事前の点検確認 …… 15
13. 設置工事の段取り手順 …… 16
14. 組立作業 …… 17〜19
15. 設置工事の点検 …… 19
16. 時計の確認 …… 20
17. ディップスイッチの設定について …… 20
18. 回路図 …… 21
19. ZG5 外気温センサー（オプション） …… 21
20. 製品仕様書 …… 22
　保証書 …… 24

2. ご使用前に良くお読みください

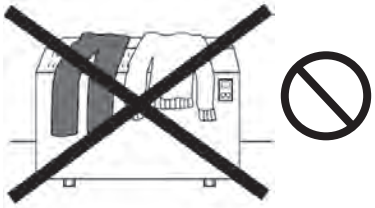
①蓄熱式電気暖房器“オルスバーグ”は、安全性に十分考慮して設計されておりますが、より安全で快適にご使用いただくために、下記の点にご注意下さい。
②ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	「禁止」を表します。
	「火傷の恐れあり」を表します。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

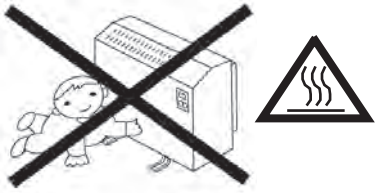
絶対に覆わないで下さい

●本体を毛布や衣類、タオル等で絶対に覆わないで下さい。



やけどに注意

●温風吹出し口に手足などを触れないで下さい。
●乳幼児や体の不自由な方は暖房器に近づけさせないで下さい。

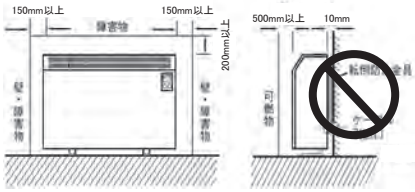


燃えやすい物を置かないで

●本体に接触して物を置かないで下さい。

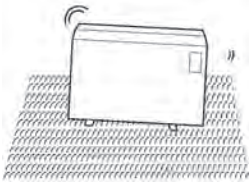
可燃物から離して設置

●家具や壁等の間は下図のように離してください。
●カーテン等燃えやすいものの近くでは特に守って下さい。



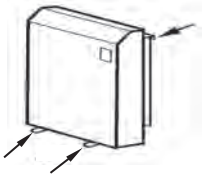
不安定な場所に置かない

●安定性の欠ける畳やカーペット等の上には直接設置しないで下さい。



転倒防止金具を取り付けて

●地震等による転倒を防ぐ為、付属の転倒防止金具で壁及び床に固定して下さい。

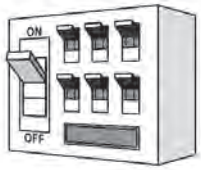


据付工事は専門業者に

●必ず弊社認定のサービス店または工事店に工事を依頼してください。

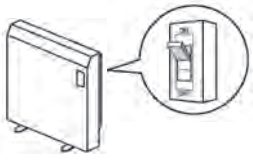
ブレーカーは指定容量で

●指定容量（アンペア）のブレーカーを単独で使用してください。



単独ブレーカーの取付を

●単独ブレーカーの取付が必要になります。

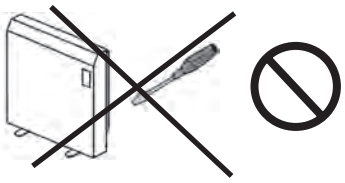


アース線は必ず接続

●接続されていないと感電・故障の原因となります。

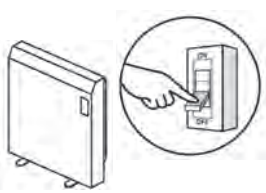
分解・改造は絶対不可

●事故の原因となりますので、分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。修理は販売店にご相談下さい。



点検時等はブレーカーを「切」に

●感電の恐れがありますので点検時は必ずブレーカーを切って下さい。



電源ケーブルが破損した場合、修理は専門業者に依頼するようお願い致します。

3. 製品の特長

オルスバーグの蓄熱式電気暖房器は次のような数多くの優れた特長を持っています。

■経済性

昼間の電気の約1／3程度で利用できる割安な深夜電力を利用して蓄熱しますので非常に経済的です。
オルスバーグのマイコン型は、使わなかった熱（残熱量）を計算し通電開始時刻を自動制御します。
深夜電力の時間帯の終わり時刻から逆算して蓄熱開始時刻を決定しますのでとても経済的です。
電力会社によっては、割引制度が適用になりますので更にお得です。
（割引の詳細は電力会社によって異なります）

■簡単操作

暖房シーズンに入ったら、200VのブレーカーをONにし、蓄熱量を設定します。
季節に合わせて蓄熱量を調節すれば、後はオルスバーグのマイコンが毎日自動的に蓄熱します。
本体上面にある「放熱量ダイヤル」を操作することで、内臓のダンパーが開き始める時間が変わり放熱量を調整する事ができます。
操作部も基本操作はダイレクトに操作できるように配置し、各種機能はメニューボタンを押し操作するように配置。
どなたでも簡単に操作することができます。

■安全性

火を使わないので火災の危険性が少なく、爆発や中毒、酸欠の心配は一切ありません。
また、二重三重の安全機能が装備されておりますので常に安心してお使いいただけます。
オルスバーグ製品は独自に、オルスバーグアースクエークプロテクションの設計思想で
高い耐震性能を実現しました。（OEP：Olsberg Earthquake Protection）

■快適性

本体の表面パネルが熱くなり、周りの空気を暖めて自然対流させるふく射熱暖房の為とてもマイルドな暖房感です。
送風装置を持たない為、非常に静かで唯一の可動部品は放熱量を調整するエアーダンパーです。

■クリーン性

燃焼がないのでお部屋の空気を汚しません。また、火を燃やさないので一酸化炭素中毒の心配もありません。

■メンテナンス性

シンプルな構造の為故障しにくく、操作も簡単で面倒な燃料補給も不要です。

■省エネの為に

冬場に長期間家を不在にする時は、放熱ダイヤルを最小にし、蓄熱設定も低めにしておくか、蓄熱減予約を使用するといいでしょう。
ただし、完全に切ってしまうと家が冷え切ってしまい暖房に時間が掛かりますのでご注意ください。
室内を常に保温状態に保つほうが経済的です。
外が暗くなったら、カーテンやブラインドを閉め、外に熱が逃げたり冷たい外気が侵入するのを防ぎましょう。

4. 操作方法

■操作部の位置関係と名称

LCDディスプレィ
通常は曜日・現在時刻
残熱量を表示します。

蓄熱設定ダイヤル
ダイヤルを回して蓄熱量
を設定します。(P6参照)

セットボタン
各種設定を決定します。
4秒長押しでチャイルド
ロックが掛かります。

蓄熱ランプ(赤)
ヒーター通電中に点灯
します。

メニューボタン
メニューを選択します。
通常押しで「通常モード」・・・(P7参照)
4秒長押しで「予約モード」・・・(P10参照)

＋ボタン

ーボタン

追焚きランプ(橙)
追焚き運転中に点灯します。

追焚きボタン
追焚きの開始と解除を
します。(P6参照)

1. 暖房開始の準備

蓄熱暖房器の電源の接続方法には2種類あります。
下記を参考に接続方法に合わせた電源操作を行ってください。

①時間帯別電灯契約(オール電化住宅など)で200V電源のみで使用している場合。(本体背面側の電源配線は200V線(1本)のみです。)

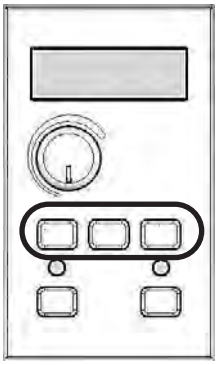
1. 本体ディスプレィが消灯している事を確認してください。
2. 暖房を開始する時は蓄熱暖房器の電源(200V)ブレーカーをオンにしてください。
3. 本体ディスプレィの時計表示を確認し、ずれている場合は時計合わせを行ってください。(時計合わせ→P8参照)

②深夜電力契約等で200V＋100Vの2電源で使用している場合。(本体背面側の電源配線は200V線と100V線の2本です。)

1. 本体ディスプレィが表示されている事を確認してください。
   ※本体ディスプレィが表示されていない場合は100V電源の接続(コンセント又はブレーカー)を確認してください。100V電源を
   オンにするとディスプレィが表示されます。この場合チャイルドロックは解除されています。
2. 暖房を開始する時は蓄熱暖房器の電源(200V)ブレーカーをオンにしてください。
3. チャイルドロックが設定されている場合は解除してください。 ※セットボタンを長押し(4秒)すると解除されます。
4. 本体ディスプレィの時計表示を確認し、ずれている場合は時計合わせを行ってください。(時計合わせ→P8参照)

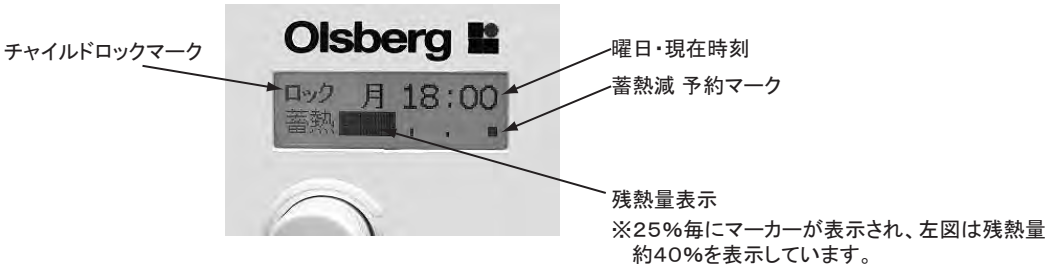
〔重要〕時計表示が5分以上ずれていたら時計合わせを行ってください。時計が大きくずれていると、夜間の蓄熱が深夜電力の時間帯から
外れることがあります。この場合、電気料金が高くなるのでご注意ください。

2. LCDディスプレィ

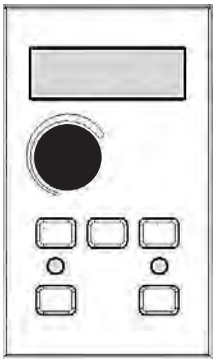


通常表示では、「曜日」「現在時刻」「残熱量」を表示しています。
ボタンやダイヤルを操作すると、ディスプレィのバックライトが点等します。
15秒間点灯した後、自動的に消灯します。
バックライトを点灯させたい時は、「セット」「＋」「－」のどれかを押してください。
ディズプレィ表示を切り替えた後、30秒間何も操作をしないと通常表示に戻ります。

◇通常表示

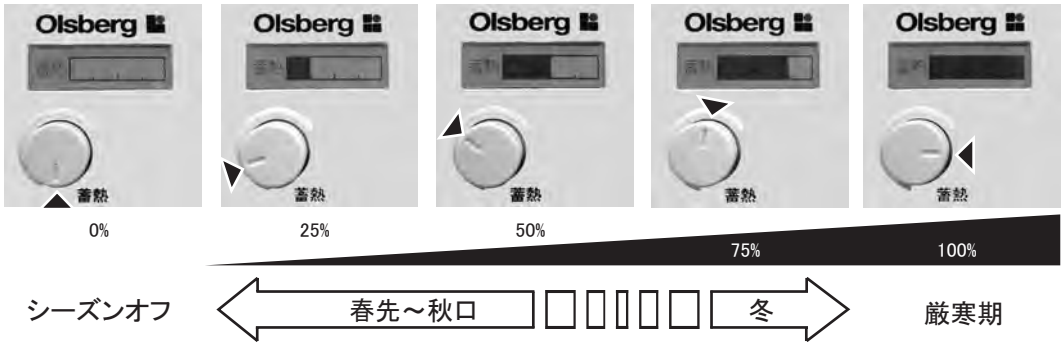


3. 蓄熱設定ダイヤル



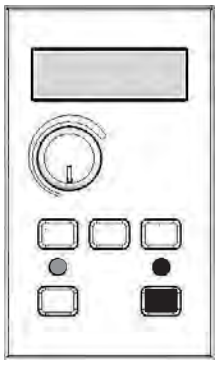
「蓄熱設定ダイヤル」により、蓄熱量を設定します。

●左いっぱいに回すと0%、右いっぱいに回すと100%になります。
●蓄熱設定ダイヤルを回すとディスプレィに設定量がバー表示されます。
●設定量は0%～100%まで無段階に設定できます。
●蓄熱設定バーには目盛りが表示されますので、設定の目安にして下さい。
※設定終了後30秒経過すると通常表示に戻ります。
※ダイヤルを早く回すとバー表示が遅れますのでゆっくり回してください。



4. 追焚き運転

※時間帯別電灯契約(TOU)の場合のみ。



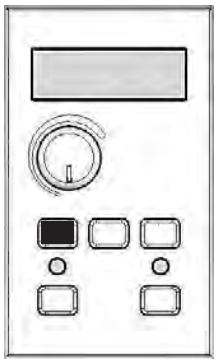
「追焚き」ボタンを4秒間長押しすると強制的に蓄熱運転を行う事が出来ます。

●「追焚き」ボタンを4秒間長押しすると、追焚きランプ（橙）が点灯し、その後に
蓄熱ランプ（赤）が点灯し強制通電状態になります。

●追焚き運転は2時間のオフタイマーを内蔵しています。
2時間経過するか、設定蓄熱量に達すると自動的に解除されます。
また、蓄熱開始時刻になった時も自動的に解除されます。
※追焚き運転中に「追焚き」ボタンを再度押すと強制的に解除する事も出来ます。
（4秒間の長押しは必要ありません）

●残熱量が設定蓄熱量より多い場合、追焚き運転を行う事ができません。
（一旦追焚きランプ（黄）が点灯しますが、数秒後に消灯します）

5. チャイルドロック



不用意な操作を防止する為に、全てのダイヤルとボタンの操作をロックします。

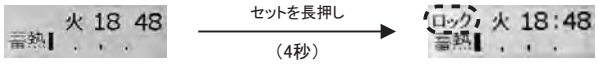
●通常表示の状態からセットボタンを長押し(4秒)すると「ロック」が表示され、チャイルドロックが設定されます。

●解除する場合は再度セットボタンを長押し(4秒)して下さい。

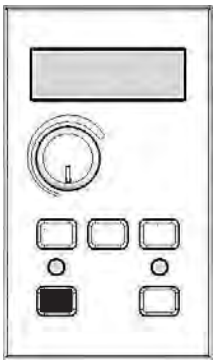
●チャイルドロック設定中に蓄熱ダイヤルが回された場合は通告としてバックライトが点灯した状態になります。バックライトを消灯するにはチャイルドロックを解除し、各ダイヤルを再設定した後に改めてチャイルドロックを設定して下さい。

※チャイルドロックは通常表示の状態から設定を行います。
※停電やブレーカーが落ちた時は、再度給電を開始した時にロックが解除された状態になりますのでご注意下さい。

通常表示　　チャイルドロック設定



6. メニューボタン(通常モード)



「メニュー」ボタンを押すと時計合わせとエラー解除のサブメニューが表示されます。

●「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューを表示します。

◇通常表示
↓
①時計合わせ
↓
②エラーの解除
↓
◇通常表示

①時計合わせ(1回押し)　②エラーの解除(2回押し)　◇通常表示(3回押し)

●各メニュー機能の選択は「セット」ボタンを押す事で選択できます。
設定内容は、「＋」「－」ボタンを使用して調節します。
変更した設定を確定する為には、最後に「セット」ボタンを押します。

※「時計合わせ」はP8を、「エラーの解除」はP9をご覧ください。

7. 暖房シーズンの終了

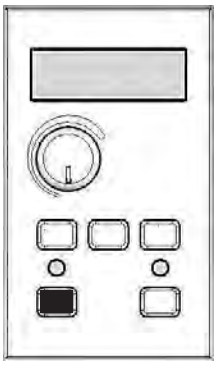
蓄熱暖房器には電源の接続方法が2種類あります。
下記を参考に接続方法に合わせた電源操作を行ってください。

①蓄熱暖房器を200V電源のみで運転している場合(オール電化住宅などの時間帯別電灯契約の場合)
→ 蓄熱暖房器の200V電源(ブレーカー)をオフにしてください。本体のLCDディスプレィが消灯した事を確認したら完了です。

②蓄熱暖房器を200Vと100Vの2電源で運転している場合(深夜電力契約等で100V電源を併用している場合)
→ セットボタンを長押し(4秒)してチャイルドロックを設定します。(シーズンオフに誤って設定を行わない為)
→ 蓄熱暖房器の200V電源(ブレーカー)をオフにして完了です。(LCDディスプレィは消灯しません)
※100V電源がコンセント又は専用ブレーカーで接続されている場合は、コンセントを抜いたりブレーカーをオフにする事で本体LCDディスプレィを消灯する事ができます。

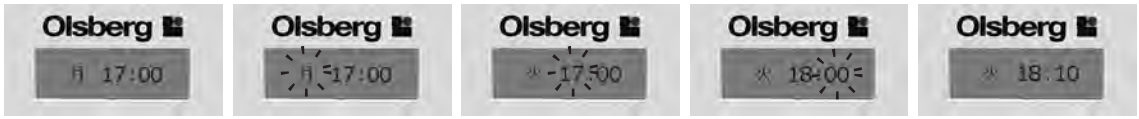
5. 時計合わせ・エラーの解除方法

1. 時計合わせ　・・・「メニュー」ボタンx1回



◇オルスバーグ蓄熱式電気暖房器にはシーズンオフにブレーカーをOFFにしても10年間の停電補償機能が搭載されており時計は作動しております。しかし、時計自体の誤差がありますのでシーズンイン時にブレーカーをONにした時に時刻がずれている事があります。
1年に一回、シーズンイン時に現在時刻をご確認頂き、誤差が生じている場合は、下記の手順に従って現在時刻の修正を行ってください。

〔時計合わせの手順〕
月曜日の17:00から火曜日の18:10に変更する場合です。



①時計修正画面（点滅箇所なし）　②「曜日」修正画面（「曜日」が点滅）　③「時」修正画面（「時」が点滅）　④「分」修正画面（「分」が点滅）　⑤「セット」ボタンで修正確定

①通常表示画面で「メニュー」ボタンを1回押すと時計修正画面に変わります。（点滅箇所なし）
②「セット」ボタン・・・「曜日」が点滅→「＋」ボタンx1回で「月」から「火」に修正。
③「セット」ボタン・・・「時」が点滅→「＋」ボタンx1回で「17時」から「18時」に修正。
④「セット」ボタン・・・「分」が点滅→「＋」ボタンx10回で「00分」から「10分」に修正。
⑤「セット」ボタン・・・点滅がとまり設定完了。

◇点滅している箇所で「＋」「－」ボタンを押すと、曜日・時・分が修正できます。
「＋」ボタン・・・曜日・時・分の順送り
「－」ボタン・・・曜日・時・分の逆送り

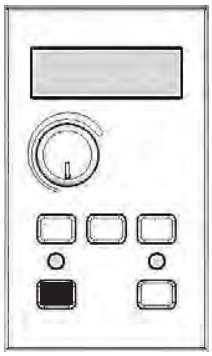
〔200V電源だけで給電している場合〕
シーズンオフにブレーカーを落とすとディスプレィ表示が消灯します。
シーズンオフの期間中は、バックアップ電池により時計は動作しておりブレーカーを上げると現在時刻が表示されます。
この時、現在時刻をご確認頂き、誤差がある場合は修正してください。

〔100V＋200Vで給電している場合〕
シーズンオフに蓄熱用の200Vブレーカーを落としてもディスプレィの表示は消えません。
100Vがコンセントで繋がっている場合、シーズンオフ期間中はコンセントプラグを抜いてください。

※ブレーカーを上げた時に、大幅に時計表示が狂っている時は、バックアップ電池が消耗しています。バックアップ電池の交換が必要です。
※停電補償は10年です。

■バックアップ電池の交換　　時計のバックアップ電池は、本体の右側面パネルの中にあるメイン基板に取り付けられています。（CR2032）
電池を交換する場合は、右側面パネルを開ける必要がありますので、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

2. エラーの解除方法　・・・「メニュー」ボタンx2回



◇機械のチェックの必要が生じた場合、ディスプレィにエラー表示が
通常表示と交互に表示されます。
※エラー表示画面が出た場合は、バックライトは常時点灯となります。

◇エラー解除画面
「メニュー」ボタンを
2回押す。

■二つ以上のエラーが同時に発生した場合

●エラー番号が並んで同時に表示されます。
説明書を良くお読みになりエラー解除を
実施してください。

◇「セット」を押すと右側に「OK」と表示されるので、更にもう一度
「セット」を押すとエラー表示が解除されます。

〔ご注意〕エラーの種類によってエラーを解除する方法が異なります。
下記のエラー毎の解除方法をご参照ください。

◇エラー番号には＃2～＃9があります。（＃1はありません。）

〔エラー＃2〕コアセンサー異常・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●コアセンサーに異常が検知されると「エラー＃2」が表示されます。
●稀にノイズ等の影響で「エラー＃2」が表示される事がありますが、エラー情報
が消えるとエラー表示は自動的に消えます。（エラー表示の自動復帰機能）
●この場合はそのままお使い頂いても何ら問題はありません。
※エラー＃2表示が出続ける時は、販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

〔エラー＃3〕蓄熱回路異常・・・エラー解除モードに切替、エラー表示を解除します。

●蓄熱回路に異常が検知されると「エラー＃3」が表示されます。
●蓄熱回路に不具合が生じ、正常に蓄熱されなかった時に表示されます。
●100Vで制御回路に給電している場合は、200Vブレーカーが OFFになっている
時に蓄熱設定が0%以外に設定されていると「エラー＃3」が表示されます。
※この場合は、ブレーカーと蓄熱設定ダイヤル位置を確認してください。

〔エラー＃4〕転倒検知スイッチ作動・・・本体の設置状況を確認し,200V(100V)電源をリセットしてください。

●360度の方向に25度以上の傾きを検知した時に表示されます。
●解除は200V(100V)の電源リセットが必要です。
●蓄熱式電気暖房器の設置状態に不具合が無い事を確認した上でエラーの解除を
行ってください。

〔エラー＃5〕基板周辺温度上昇・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●CPU及び操作部基板の周辺雰囲気温度が規定値より上昇すると表示されます。
放熱し周辺温度が下がればエラー表示は自動解除します。
●隣接する家具等の影響により暖房器の周辺に熱篭りが起きている可能性があります。
移動できる家具は移動し離隔を確保してください。

〔エラー＃7〕時計読込み異常・・・時計の再設定

●電源投入時に時計の読込みデータに異常が発生した場合表示されます。
●「時計合わせ」にて曜日及び時刻の再設定を行ってください。エラーが解消されれば問題ありません。
●時計の再設定を行ってもエラー表示が解消されない場合は販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

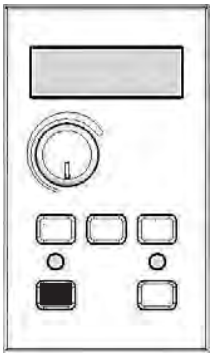
※現在時刻が合っている場合も「時計合わせ」の動作を行ってください。 この動作を行う事でエラーが解除されます。

〔エラー＃6、＃8、＃9〕CPU基板異常・・・基板交換

●CPU基板の異常です。販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

6. 蓄熱減設定と解除の方法

◇「メニュー」ボタンを4秒間長押しすると、蓄熱減設定・解除を行う「予約モード」に入ります。



●通常表示から「メニュー」ボタンを4秒間長押しすると、「予約モード」に入ります。
メニューボタンを押すと「蓄熱減設定」「予約解除」が切替わります。

①蓄熱減設定
↓
②予約解除
↓
◇通常表示

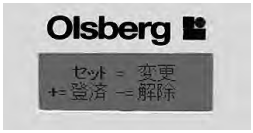
①蓄熱減設定画面

②予約解除画面

●各メニュー画面で「セット」ボタンを押すと設定画面に切り替わります。
設定内容は、「＋」「－」ボタンを使用して調節します。
変更した設定を確定する為には、最後に「セット」ボタンを押します。

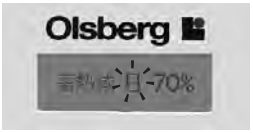
蓄熱減予約の設定方法

①蓄熱減設定画面

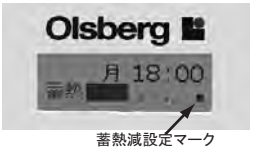


②設定選択画面

③登録済プログラム選択画面



④設定変更・確認画面



⑤蓄熱減設定完了

①「メニュー」ボタンを4秒間長押しし、ディスプレィに「蓄熱減」を表示させます。
②「セット」ボタンを押すと蓄熱減予約の設定画面に切り替わります。
③「＋」ボタンを押すと登録済プログラム番号の選択画面になり、登録済プログラム番号が点滅します。
「＋」「－」ボタンで生活に一番近い登録済プログラム番号を選択し「セット」ボタンを押すと設定が確定し、設定変更・確認画面になります。
④設定変更・確認画面では、必要に応じて設定内容の変更を行うことができます。
（後で変更することも可能です）
⑤「メニュー」ボタンを2回押すか、30秒経過すると標準画面に戻り「蓄熱減設定マーク」（■）が表示されます。

設定内容の変更方法

①②の「設定選択画面」で「セット」ボタンを押すと、④の「設定変更・確認画面」に入ります。
②「曜日」点滅時に「＋」「－」ボタンを押すと曜日を変更できます。
③「セット」ボタンを押すと「曜日」と「減熱％」の点滅を切替える事ができます。
④「減熱％」の点滅時に「＋」「－」ボタンを押すと0％～70％の範囲で変更する事ができます。（10％単位での変更が可能です）

蓄熱減設定の解除

②の「設定選択画面」で「－」ボタンを押すと確認の為に「OK」と表示されます。
「セット」ボタンを押すと蓄熱減設定の解除が完了します。
※通常画面に戻った時に、「蓄熱減設定マーク」が消えている事を確認してください。

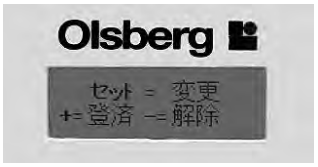
蓄熱減設定の手順（設定変更シミュレーション）

登録済蓄熱減設定リストの中から「蓄熱減登済4」を選択し、蓄熱減設定量を変更をする場合の手順を説明します。

◇「蓄熱減登済4」設定済内容
「蓄熱減登済4」では、土日の二日間のみ設定蓄熱量の70%の蓄熱設定量で蓄熱を行ないます。
（週末に使用しないオフィス等にご利用できる設定です）

1. 登録済蓄熱減設定リストの中から「蓄熱減登済4」を予約設定します。

①「メニューボタン」x4秒長押し



③予約設定画面（セットボタンx1回）

③登録済プログラム番号変更

④登録済プログラムを「4」に変更

①－通常画面で、メニューボタンを4秒長押しすると画面に「蓄熱　減」と表示されます。
②－「セット」ボタンを1回押すと「予約設定画面」に切り替わります。
③－「＋」ボタンを押すと、蓄熱減の登録済プログラム選択画面に切り替わり登録済プログラム番号が点滅します。

※「セット」ボタンを押さずに30秒経過すると通常画面に戻り予約は設定されません。
※「セット」ボタンの変わりに「メニュー」ボタンを押すと、②の「蓄熱減」画面に戻り予約は設定されません。
※「－」ボタンで「蓄熱減プログラム番号」を逆送りする事ができます。

2. 「蓄熱減登済4」の設定内容を変更します。

日曜日：蓄熱減%を70%→50%
月曜日：蓄熱源%を0%→50%

⑥予約内容確認画面

⑦蓄熱源%変更

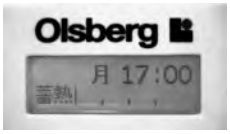
⑧曜日変更

⑨蓄熱減%変更

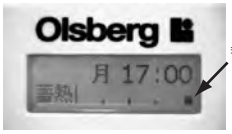
⑩蓄熱減設定の確定

⑥－⑤で「セット」ボタンを押すと予約設定が完了し、予約内容確認画面に切り替わり「日」が点滅します。
⑦－「セット」ボタンを1回押し点滅箇所を「蓄熱減設定値」に移動させ、「－」ボタンを2回押し蓄熱減設定値を50%に変更します。
※蓄熱減の設定値は10%単位で0%～70%まで設定できます。
※「＋」ボタンで設定値が増え、「－」ボタンで設定値が減少します。
※点滅箇所が行き過ぎてしまった場合は、「セット」ボタンを複数回押し「70」%を点滅させてください。
⑧－「セット」ボタンを1回押し点滅箇所を「曜日」に変更し、「＋」ボタンを1回押すと「日」が「月」に変ります。
⑨－「セット」ボタンを1回押し点滅箇所を「蓄熱減設定値」に変更し、「＋」ボタンを5回押し蓄熱減の設定値を50%に変更します。
⑩－蓄熱減設定値が50%と表示されたら「セット」ボタンを押すと曜日の点滅に変わり設定が確定します。

3. 蓄熱減設定の完了と「蓄熱減設定マーク」の確認。



①通常画面



⑪蓄熱減設定マーク

⑪－⑩で「メニュー」ボタンを3回押すと通常画面に戻りますので、
画面の右端に予約がされた事をあらわす「蓄熱減設定マーク」
が表示された事を確認してください。

登録済 蓄熱減設定リスト

登録済蓄熱減設定メニュー	曜日設定							想定使用状況(例)
	日	月	火	水	木	金	土	
蓄熱 減 登済 1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	通常使用時
蓄熱 減 登済 2	0%	30%	30%	30%	30%	30%	0%	平日昼間に留守になる家庭等
蓄熱 減 登済 3	0%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	土曜日も留守になる家庭等
蓄熱 減 登済 4	70%	0%	0%	0%	0%	0%	70%	週末に使わないオフィス等
蓄熱 減 登済 5	0%	70%	70%	70%	70%	30%	0%	週末のみ使用する別荘等

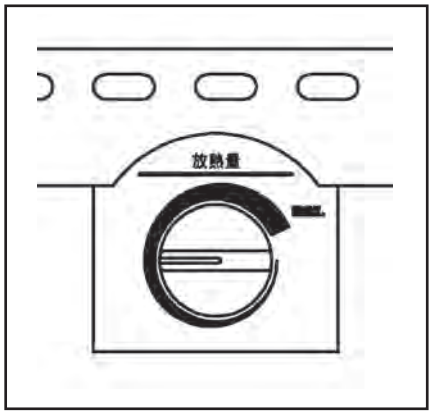
◇蓄熱減の設定%は、設定されている蓄熱量に対する%となります。
〔計算の仕方〕
蓄熱設定値x（100%－減熱設定値）＝蓄熱量

80%設定時に50%減熱設定した場合→80%x（100%－50%）＝40%
60%設定時に30%減熱設定した場合→60%x（100%－30%）＝42%

7. 放熱量調節の仕方

■「放熱量調節」ダイヤルにより放熱量を設定します。

ファンレスタイプは、本体上面にある「放熱量」ダイヤルを操作することで、内蔵のダンパーが
開き始める時間を変え、放熱量を調節する事が出来ます。



1.「0」に合わせた場合
内蔵ダンパーは常に閉まっています。（放熱量最小）

2. 中間に合わせた場合
内蔵ダンパーはおおよそ夕刻から開き始めます。

3.「max」に合わせた場合
内蔵ダンパーは、午後早めの時間から開き始めます。
（放熱量最大）

（ご注意）
内蔵ダンパーの動作は目安です。残熱量、室温等の影響により開き始める時間には
誤差があります。

8. ご注意

●初期の蓄熱時に、臭いや煙の発生が見られることがありますが異常ではありません。
①初期の運転時に限り見られる現象です。
②内部の断熱材、ヒーター素子等に付着した油分や蓄熱レンガ等に含まれる湿気が原因です。
③数回の運転で現象は収まります。
※臭いや煙が発生した場合は、窓を開けるなどしてお部屋の換気を十分に行ってください。

●本体に音鳴りが発生することがありますが異常ではありません。
①通電開始後に通電音が聞こえる事があります。
②蓄熱開始時、及び終了時にはリレー作動音がいたします。
③筐体が冷えたり加熱している時に音鳴りが発生する事があります。
※③は加熱・冷却により鉄板が伸縮する事により発生する音で危険性はありません。

●暖房器の近くや上に燃えやすい物を置かないで下さい。
木製のもの、洗濯物、洋服、新聞、毛布や家具等可燃性の物を暖房器の上に置かないでください。
また、暖房器の（特に熱くなっている吹出しログリル）前に家具を50cmより近づけないでください。

●使用中は本体が熱くなります。（70～80℃）
低温やけどの恐れがありますので、小さなお子様やお年寄りのいるご家庭の使用にはご注意願います。
特に吹出しログリル部は高温となりますので触れない様にご注意ください。

●蓄熱式電気暖房器は爆発性のガスや可燃性のホコリのある部屋では使用しないでください。
ホコリが出る大掃除の際は一時的に運転を中止してください。

●オルスバーグ蓄熱式電気暖房器は最適な安全調整を行っております。
不正な修理はお客様に大きな危険を与える可能性があります。
修理等は適切な資格を持ったサービス店で行ってください。

9. 故障かな？と思ったら

●故障かな？と思ったらお問合せの前に以下の項目をご確認ください。

◇蓄熱式電気暖房器が暖まらない

・蓄熱設定ダイヤルが正しく設定されているかご確認ください。
・ブレーカーが上がっているかご確認ください。

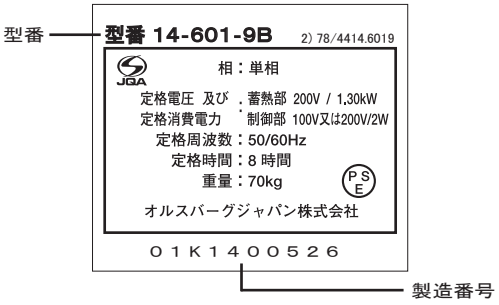
●サービス（点検・修理）を依頼される場合は。

◇ご自分で修理なさらずに、エラー番号と発生した時の状況をご確認の上、
お買い上げの販売店へご連絡ください。

◇次の事をお知らせください。

①型番・製造番号・・保証書または、本体の右側面パネルの下側に
貼られた銘板シールに記載されています。
②納品日・・・・・・・・ 保証書を確認ください。
③故障状況・・・・・・ いつ頃から、どのような症状が出ていたか？

◇銘板シール（サンプル）



10. 重要事項

①電気配線および接続工事は、内線規程に基き有資格者によってなされなければなりません。
②工事や点検・修理に際しては、事前に必ず配電盤の元電源を切ってください。
③設置床は、十分な対苛強度を有し水平で凸凹がないことを確認して下さい。
　●機器重量については、P22の仕様欄をご参考下さい。
④安定性を維持する為に、本体が水平面上に置かれる事が重要です。
　●カーペットや畳等不安定な床面上には設置できません。
⑤本器は壁にしっかり固定されなければなりません。
　●壁は、転倒防止金具の固定に十分な下地補強がされていることが必要です。
⑥使用中は表面が熱くなります。可燃物に対する離隔距離は、上面で200㎜以上、側面で150㎜以上、前面が500㎜以上です。
⑦蓄熱レンガの組込後の断熱は、同梱の断熱材を用いて熱漏れが無いように完璧に行ってください。
　●詳細はP17～19ページの「組立作業」編をご参照下さい。

蓄熱式電気暖房器は、運びやすくする為に本体と蓄熱レンガは別々に梱包されています。
「オルスバーグ」製品は梱包を必要最低限にし、リサイクルされた原料で作られています。
パッケージや製品は、可能な限り別の原料にリサイクルしたり適切に処理できるようになっています。
〔重要〕パッケージとリサイクルできる部分、廃棄する使用済みの製品及び製品部位を分別してください。

11. お断り

①試運転や初めて通電した時に、煙や臭いの出る事もありますが異常ではありません。
　●初期の運転（通電）時に限り見られる現象です。
　●湿気やヒーター素子と本体に塗られた錆止め油、機械加工時の残り油等によるものです。
　●蓄熱量の設定方法は、取扱説明書をご参照下さい。
　●窓を開けたり換気扇を回す等の処置をし、部屋は十分な換気状態に保ってください。
②暖房器の性質上、不規則音の出る事がありますが異常ではありません。
　●蓄熱温度に起因した筐体の熱膨張・伸縮が原因です。
　●性能や安全性については、問題ありません。

本器の設置にあたっては、正しい施工により安全性と正常な機能や性能が確保されますと
共に効率的に作業ができますよう、この設置要領書を事前にお読み頂き参考にして下さい。

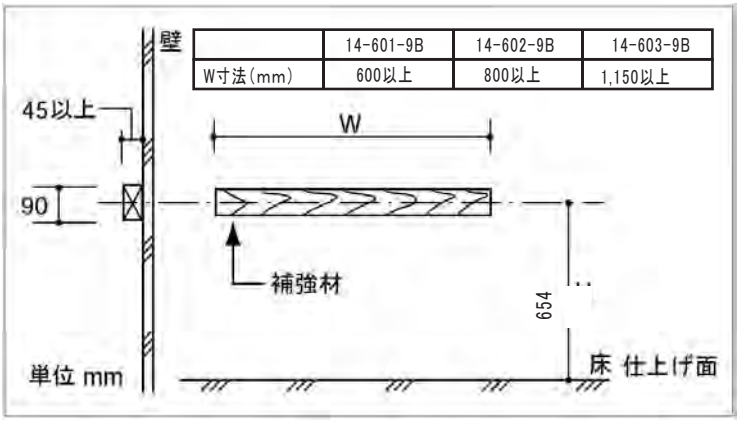
12. 事前の点検確認

※不具合がある場合は、その内容を関係者に伝え、手直しを要請してください。

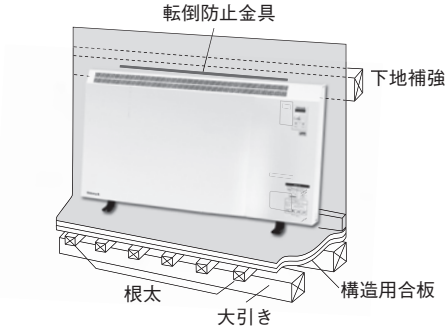
■設置場所の下地補強

①設置床の強度、仕上げ材および水平度を確認する。
②転倒防止金具を取付ける壁下地の有無を確認する。

●暖房器の安定を確保する為に、水平面上に置かれる事が重要です。
●タタミやカーペット等不安定な床の上に設置する事はできません。
●タイル床等、素材の凸凹により設置面の水平が確保できない場合、厚さが24mm以上で本体と概ね同じ大きさの敷板の上に設置下さい。



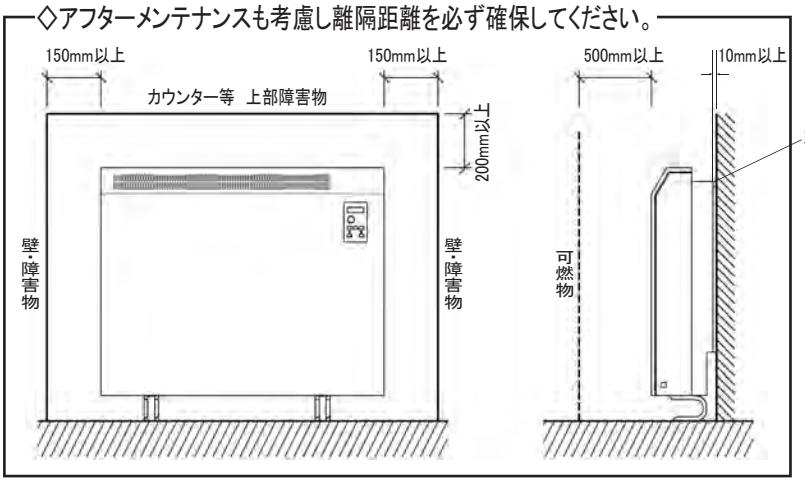
	14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
W寸法(mm)	600以上	800以上	1,150以上



■障害物・可燃物に対する離隔距離について

①安全確保のため離隔距離は必ず確保してください。
●思わぬ故障の原因となったり、焼損などの被害を与える恐れがあります。
●離隔距離が不足すると暖房効率が低下します。

◇アフターメンテナンスも考慮し離隔距離を必ず確保してください。



※この離隔距離は、本体を正常に動作させる為に必要な寸法であり、周囲の壁や棚等に対する影響を保証するものではありません。

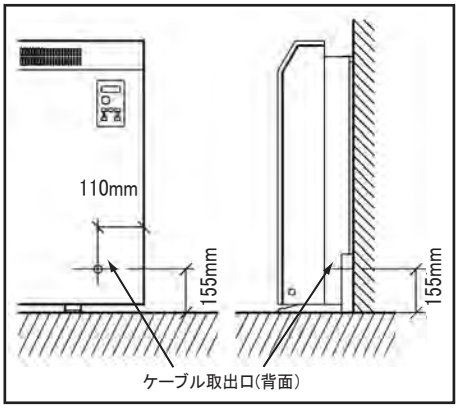
※付属の転倒防止金具により、背面の離隔距離は10mm確保されます。

※左記の離隔距離が確保できない場合は、別紙承認図をご確認ください。

■電気配線について

①一次側電源は、本体側電源ケーブル取り出し口付近に配線されている事。(左図参照)
②200V用配線と共にアース線が配線されている事。
③内線規定に基いた配線がされていること。
※深夜電力契約の場合、電源部の繋ぎ変えをすることで、100Vにてマイコンの作動が可能です。
100V用耐熱ケーブルはオプションです。
(P21「回路図」の「100Vにて制御回路に給電する場合(2電源方式)」参照)

機種型番	定格容量	ブレーカー容量	電源ケーブル仕様サイズ
14-601-9B	単相200V 1.3kw	15A・20A	600V 3.5mm² (約1m付属)
14-602-9B	単相200V 2.15kw	15A・20A	600V 3.5mm² (約1m付属)
14-603-9B	単相200V 3.4kw	30A	600V 3.5mm² (約1m付属)



※背面の離隔距離は10mmですので、ケーブルの取り出し位置にご注意ください。

13. 設置工事の段取り手順

■構成部材の確認

①本体と必要な蓄熱レンガの数量を確認します。

暖房器本体と蓄熱レンガは別々の梱包で出荷されます。
暖房器、梱包に使用されている材料の殆どがリサイクル可能な材料で作られております。

	14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
SP36	0	2	8
SP38	2	2	0

②同梱部品を確認する。

脚部x2
脚部用ボルトx4
床固定用コーチスクリューx2
（上記用ワッシャーx6セット）
壁面固定用ビス(4.5x5)x5
（上記ビス用ワッシャーx5）

脚部固定用ボルト

床固定用コーチスクリュー

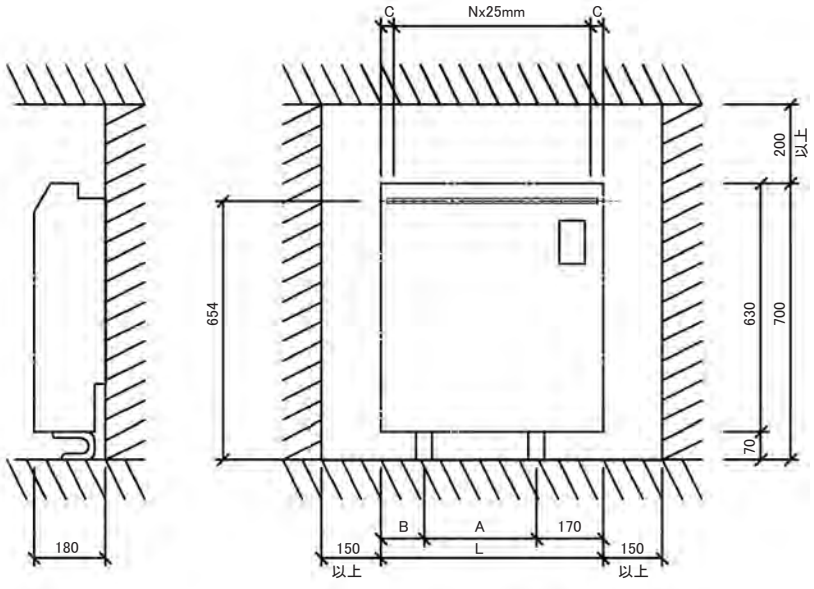
壁固定用ビス

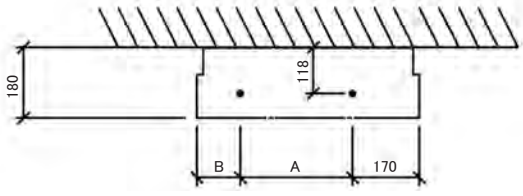
◇壁固定用ビス使用本数		
14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
3本以上	4本以上	5本

③転倒防止金具を取り付ける壁下地の有無を確認する。

P15「設置場所の下地補強」とP16「各部詳細寸法図」を参照。

■各部詳細寸法図





	14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
A	285	475	805
B	110	140	140
C	32.5	42.5	32.5
L	565	785	1115
N	21	29	43

※Nの数値は転倒防止金具のビス穴の数です。

14. 組立作業

1. 本体の開梱

①天地を逆にして底面から開梱し、底面のパッキン材を外し、脚部とパーツバッグを取り出してください。

②脚部を付属のボルトで本体に固定してください。

③脚部を持って引き上げ梱包材より本体を引き出してください。

2. 壁固定金具の取り付け

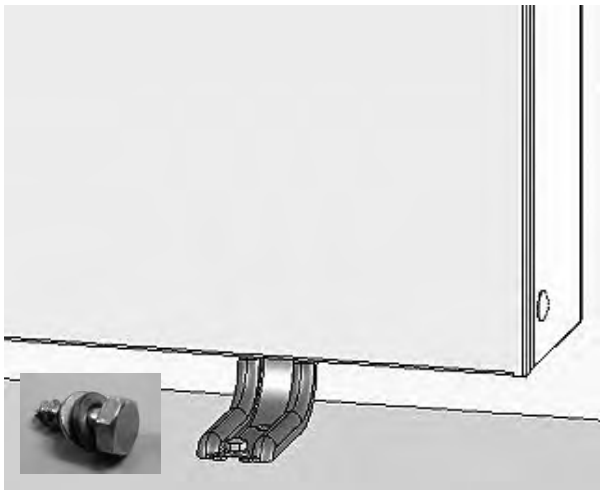
①本体より壁取付金具を取り外してください。

②設置場所の壁面に壁取付金具を固定してください。

施工手順についての注意事項

・蓄熱レンガの自重により、蓄熱レンガ組込み後に数ミリ本体が沈みます。
・蓄熱レンガを組み込んだ後、転倒防止金具及び脚部固定を行ってください。
・壁面固定は同梱の4.5x50mmのビスにワッシャーを掛け使用してください。
・転倒防止金具のビス芯は、床仕上がり面より＋654mmとなります。

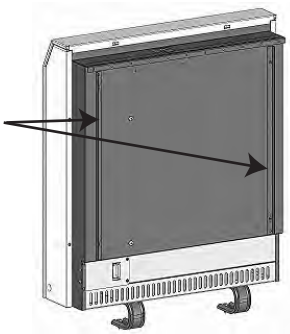
3. 床固定



①P16の「各部詳細寸法図」を参考にしながら、床固定用ビス位置の墨出しをし、3.5mmのドリルで下穴を開けます。

②電源接続をした後、本体と壁固定金具を固定します。
（背面パネルの縦のアングルがが壁に当たっている事を確認してください）

③付属のコーチスクリューにワッシャーとスプリングワッシャーを掛け脚部を床に固定します。
※地震による転倒を防止す為、必ず床に固定してください。



4. 蓄熱レンガの組み込み

①両側面下部にあるビスキャップを外し、
前面パネル固定ネジを外します。

②前面パネル下部を手前に引きながら上に
持ち上げると前面パネルが外れます。

③前面パネルと前面インナーパネルの間に
ある**発泡スチロールのパッキン材**を取り除き、
インナーパネルを固定しているビスを全て外します。

④インナーパネルの上方を手前に引きながら
上に持ち上げるとインナーパネルが外れま
す。

⑤インナーパネルの内側にはマイクロ
サーム断熱材が取り付けられており
ますで、取り外しに注意下さい。

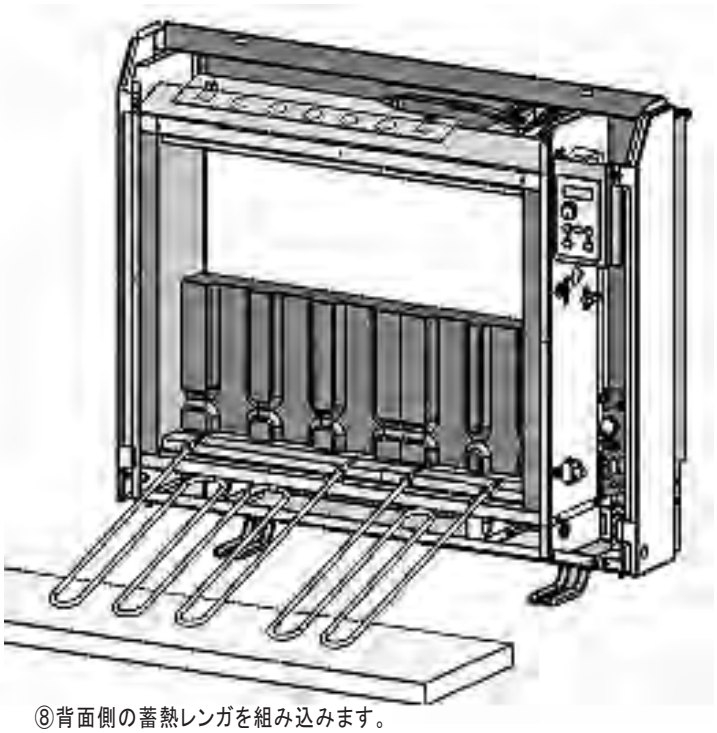
⑥ヒーターを固定している**発泡スチロールの
パッキン材**を取り除きます。

⑦ヒーターを上方に持ち上げると底部断熱材
からヒーターが抜けますので、手前側に
倒してください。

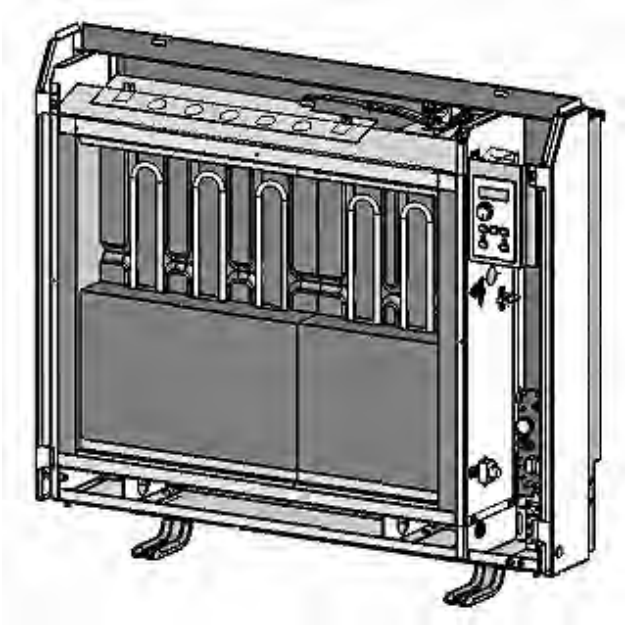
注　意

※ヒーターで床を傷つけないようパッキン材等で床養生をしてください。

※ヒーター素子には、リードケーブルが接続されています。
蓄熱レンガ組込み時に無理に引き上げるとリードケーブルが端子より
外れる事がありますので、注意して作業を行なってください。



⑧背面側の蓄熱レンガを組み込みます。
※ヒーターを逃がす為に凸凹加工がされている面が内側にきます。



⑨ヒーター素子を元の位置に戻してから、手前側の蓄熱レンガを組み込みます。
※ヒーターを逃がす為に凸凹加工がされている面が奥側にきます。

⑩取外しと逆の手順でインナーパネルを取付けビスで取り付けます。
※インナーパネルに取り付けられているマイクロサーム断熱材を痛めない様に十分注意してください。

⑪取付けと逆の手順で前面パネルを取付けビスで固定、ビスキャップを取付けてください。

■機種別使用レンガー覧

	SP36	SP38
14-601-9B	-	2
14-602-9B	2	2
14-603-9B	8	-

15. 設置工事後の点検

①暖房器本体の200Vコードとアースコード間の絶縁抵抗値が0.2MΩ以上ある事を確認します。
※設置直後や暖房シーズン初めには湿気により絶縁抵抗値が低下している場合がありますが、一度通電すると乾燥して回復します。
②200Vブレーカーを上げ、操作パネルの「追焚き」ボタンを押し、追焚き運転を行います。
③本体内部の200V端子台に接続されているN又はLの電源ケーブルや、配電盤の200Vブレーカー部でクランプメーターを使用し電流値を測定します。
※所定の電流値が流れている事を確認ください。
※初期の蓄熱時に臭いや煙の発生する場合がありますので、施工後に必ず試運転を兼ね蓄熱を行ってください。

■機種別電流値

	電流値
14-601-9B	6.5A
14-602-9B	10.8A
14-603-9B	17.0A

16. 時計の確認

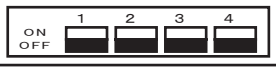
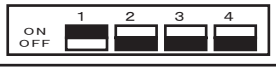
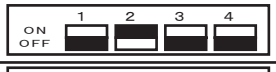
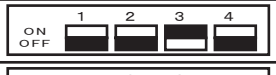
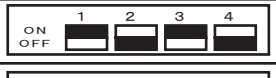
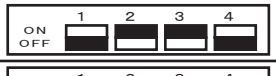
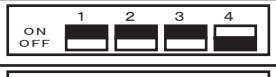
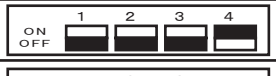
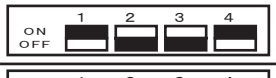
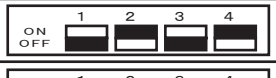
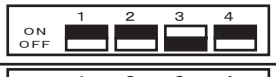
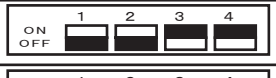
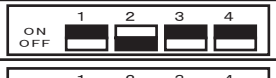
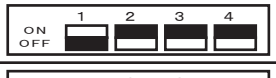
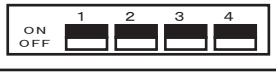
①200V電源ブレーカーをONにすると数秒間のセルフテストの後、通常表示が表示されます。
②現在時刻を確認し、誤差がある場合は取扱説明書の「時計修正の方法」を参考に時計を合わせてください。

※時計は工場出荷時にプリセットされておりますが、お使いになる時は現在時刻をご確認頂き、ずれが生じている時は時計を合わせてください。（取扱説明書 P8「時計合わせ」参照）
※時計誤差の関係でずれが生じる事があります。年に一度使いはじめには現在時刻の確認をしてください。
※停電補償期間は10年です。
※200Vブレーカーを再投入した時に、時計が「00:00」にリセットされる場合、CPU基板上のバックアップ電池がソケットにしっかりセットされているか確認し、改善が見られない時はバックアップ電池の消耗が考えられます。（バックアップ電池「CR2032」）

17. ディップスイッチの設定について

取扱注意
設置後の設定変更は電力契約の内容に基づきます。誤った設置は高額な電気料金や誤作動の原因になりますので詳しくは販売店にお問い合わせください。

オルスバーグ ファンレスシリーズのマイコンは、タイマー機能をプログラム上で持っております。
各電力会社の電力メニューに合わせてCPUボードのディップスイッチを切り替える事で運転モードを切替える事ができます。

ﾓｰﾄﾞ	ディップポジション	設定内容
0		時間帯別電灯契約8時間(23時～7時)
1		時間帯別電灯契約9時間(23時～8時)
2		時間帯別電灯契約10時間(22時～8時)※8時蓄熱完了
3		深夜電力契約8時間(23時～7時)
4		モード「0」と同じ
5		時間帯別電灯契約8時間(22時～6時)
6		時間帯別電灯契約8時間(24時～8時)
7		メンテナンスモード(通常運転には使用不可)※1
8		深夜電力契約8時間(22時～6時)
9		深夜電力契約8時間(21時～5時)
10		深夜電力契約8時間(24時～8時)
11		深夜電力契約8時間(1時～9時)
12		深夜電力契約9時間(23時～8時)
13		時間帯別電灯契約10時間(22時～8時)※7時蓄熱完了
14		メンテナンスモード(通常運転には使用不可)※1
15		メンテナンスモード(通常運転には使用不可)※1

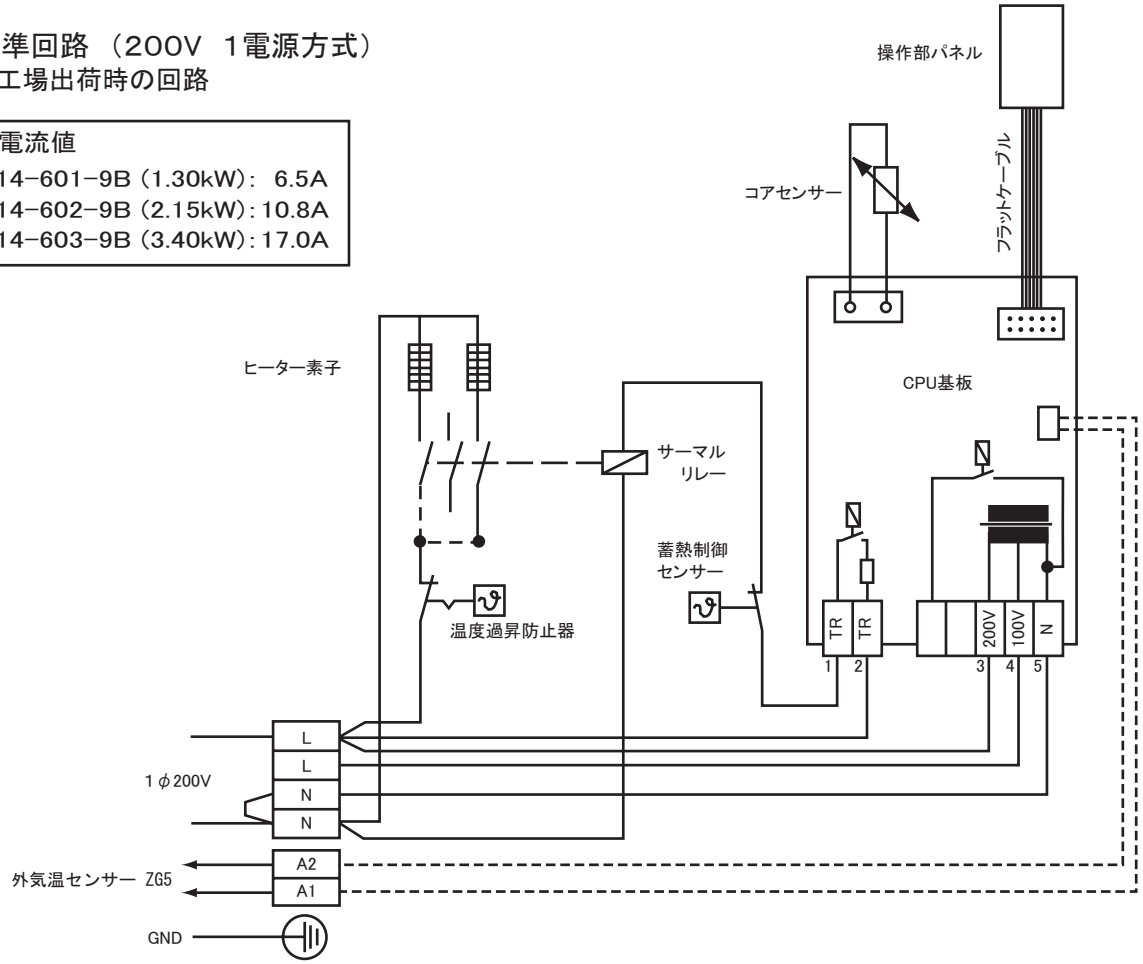
※1については最寄の弊社営業所に確認願います。

※プログラム上でタイマー機能を持っておりますので、停電等により電源供給が止まっても、設定が消えてしまう事がありませんので、再設定の必要がありません。
※工場出荷時はモード「0」又は「4」に設定されております。【時間帯別電灯契約8時間(23時～7時)】
※各電力メニューの夜間電力終了時刻に合わせ通電制御機能が働きます。

18. 回路図

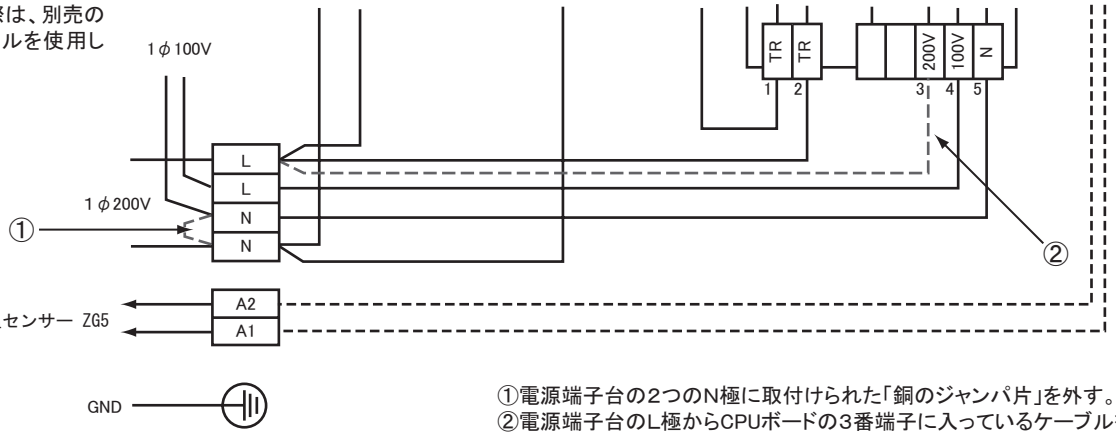
◇標準回路 （200V 1電源方式）
※工場出荷時の回路

電流値
14−601−9B (1.30kW): 6.5A
14−602−9B (2.15kW): 10.8A
14−603−9B (3.40kW): 17.0A



◇100Vにて制御回路に給電する場合（2電源方式）

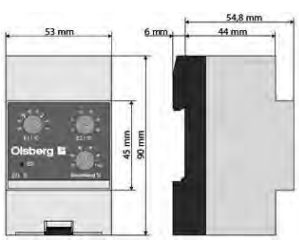
※100Vの給電の際は、別売の
100V耐熱ケーブルを使用し
てください。



①電源端子台の2つのN極に取付けられた「銅のジャンパ片」を外す。
②電源端子台のL極からCPUボードの3番端子に入っているケーブルを外す。
電源端子台側はケーブルを端子台から外し、CPUボード側はコネクター部で
ケーブルをカットしてください。
（回路図上、共に点線で表記されています）

注意！！ 回路変更を行う前に、電源ブレーカーがOFFになっている事を必ず確認してください。

19. ZG5 外気温センサー（オプション品）



●当該機器は外気温を常にモニターし蓄熱式電気暖房器に
必要な蓄熱量を経済的かつ効果的に自動的に調整します。

20. 製品仕様書

型番			14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
定格	蓄熱部	電圧(V)	単相200V		
		容量(kW)	1.30kW	2.15kW	3.40kW
	制御部	電圧(V)	単相200V(電源部の繋ぎ替えで100V駆動可能。 100V耐熱ケーブルはオプション)		
		容量(W)	200V 2W (100V接続時は2W)		
蓄熱レンガ		素材	フェオライトを主体とした特殊セラミック		
蓄熱レンガ使用箱数		SP36	—	2	8
		SP38	2	2	—
定格時間(h)			8		
定格蓄熱(kWh)			10.4	17.2	27.2
最大蓄熱量(kW)			8.60	14.53	22.85
最大蓄熱率(%)			82.7	84.5	84.0
ヒーター素子		素材	ステンレスシーズヒーター		
		使用ヒーター	1.3kW x 1	0.85kW x 1, 1.3kW x 1	1.7kW x 2
断熱材			マイクロサーム・ヴァーミュキュライト・グラスファイバー		
蓄熱量調節			HT PT100センサー (110℃ OFF)		
			無段階調節		
放熱量調節			バイメタル駆動による自動開度調節ダンパー		
安全装置	温度過昇防止器		OFF:160℃ 手動復帰型		OFF:165℃ 手動復帰型
	転倒検知スイッチ		フォトセンサー : 360度の方向に25度の傾きで通電カット		
	転倒防止機構		壁面固定用転倒防止金具、脚部にて床固定		
	耐雷サージ機能		トランス式:制御電源回路に装着		
電源ケーブル			200V耐熱ケーブル 3芯 3.5mm² 約1m付属(100V耐熱ケーブルはオプション)		
寸 法	幅(mm)		565	785	1,115
	高さ(mm)		700 (オプションの短脚使用時 : 650)		
	奥行(mm)		180 (転倒防止金具10mm含む)		
重量(kg)			70	111	172
筐 体	材 質		亜鉛メッキ鋼板(t=1mm)		
	塗 装		焼付け塗装		
	色 (番号)		ピュアホワイト(RAL9010)		